素早いドリブルで果敢に攻める明科サッカースポーツ少年団の選手

今年から8人制となり、例年よりも激しい攻防戦が繰り広げられた（松本東明善-日野平岡）

はつらつプレーに声援

少年サッカー カガミカップ 8人制ルール初導入

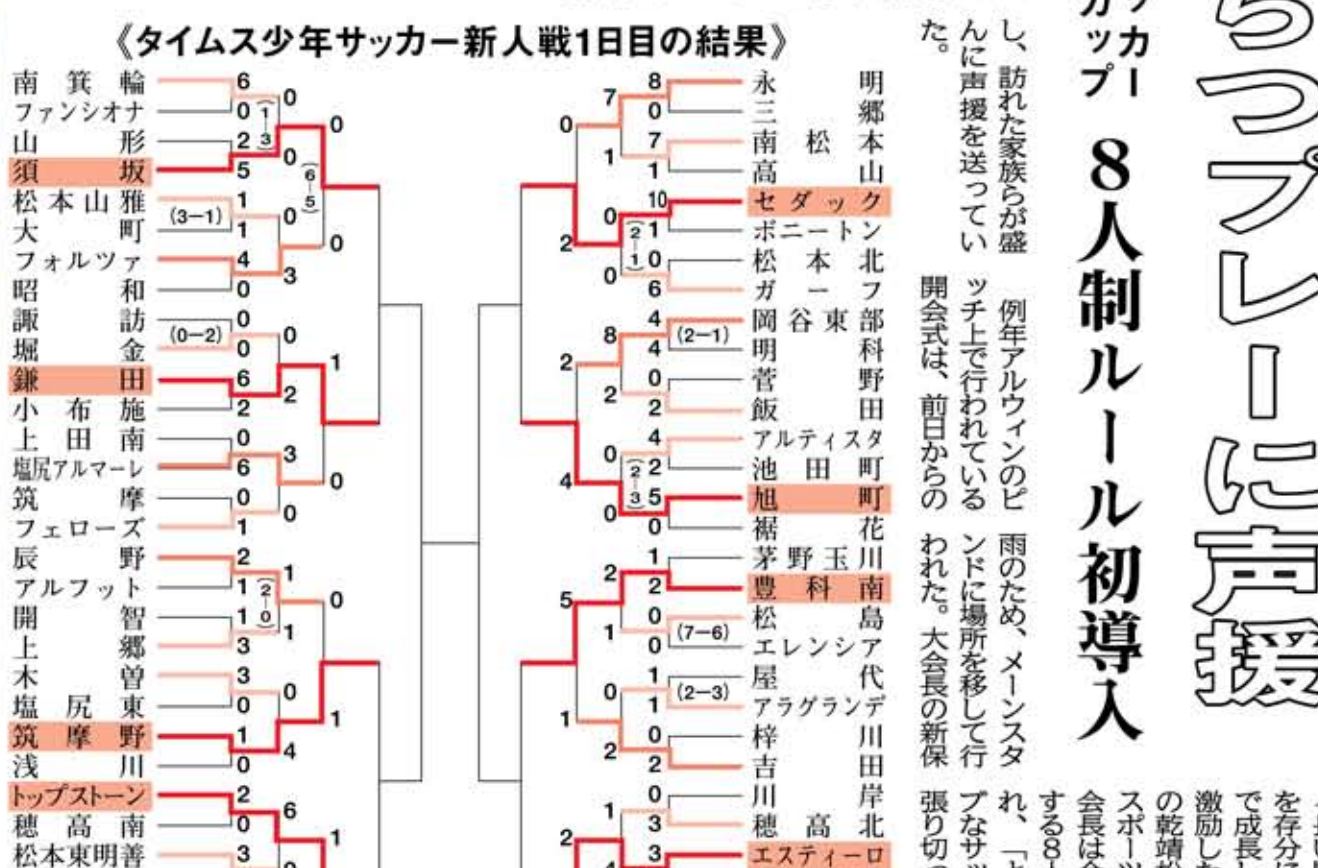
第26回市民タイムス少年サッカー新人戦カガミカップが6日に開幕し、松本市総合球技場アルウィンに選手や家族、大会関係者ら約1700人が集まり、盛大に開会式が行われた。各試合会場では、新チームになったばかりの選手たちがはつらつとしたプレーを披露し、訪れた家族らが盛んに声援を送っていた。

例年アルウィンのピッチ上で行われている開会式は、前日からの雨のため、メーンスタンドに場所を移して行われた。大会長の新保張り切ってほしい」と激励した。大会委員長の乾靖松本市サッカースポーツ少年団連合会会長は今年初めて導入する8人制ルールに触れ、「よりアグレッシブなサッカーとなる。あいさつした。

選手を代表し、開智サッカースポーツ少年団の竹内駿汰主将（11）＝開智小5年＝が「大好きなサッカーができることに感謝し、仲間と自分を信じ、最後まで全力でプレーする」と宣誓した。

試合は、冷たい雨が降る中で行われ、選手たちは泥まみれになりながら、相手ゴールを目指していた。グラウンドの周りで傘を差しながら観戦していた家族たちは、子供たちの激しい攻防に大きな声援を送っていた。（小岩井貴之）

《タイムス少年サッカー新人戦1日目の結果》



（ ）内はPK戦の結果

雨が降り、泥まみれになりながらも白熱した試合を繰り広げる選手たち（フォルツァ松本-松本山雅FCU-11）

ゴール前で激しく競り合う選手たち（塩尻アルマーレ-上田南）

メーンスタンドに選手たちが並ぶ中、選手宣誓する開智サッカースポーツ少年団の竹内駿汰主将

鋭いシュートを放つ豊科南サッカークラブの選手

傘を差しながら応援する家族たち。選手たちの激しい競り合いに一層大きな歓声が上がる（フォルツァ松本-松本山雅FCU-11）